

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ラティチュード・パール	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.511	△RG	0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ラティチュード・パール

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番

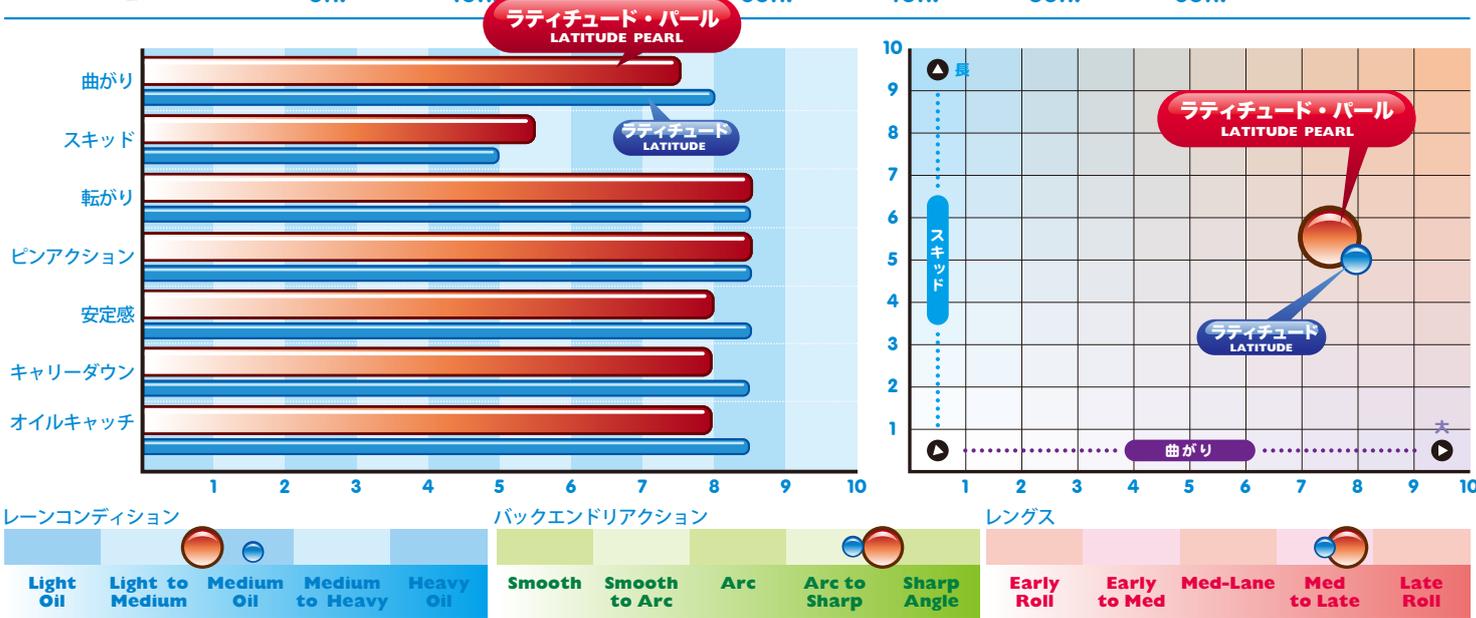
比較対照ボール：ラティチュード

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番



ボールの評価

最初に発売されたLATITUDEはSolidカバーで、旧EBIのウレタン素材にブランズウィックのケミカルを混入させた全く新しいQR-8 1 Solidカバーストックへと進化しました。EBI当時感じていたTriton EliteのMC2コアのイメージは一新され、Mid Performance領域の中では贅沢と思えるほどオイルに対しての強さと安定感がでています。

今回のLATITUDE PEARLは同じQR-8領域のPearlバージョンで、LATITUDEで感じていたパワー領域を奥に温存する試みがなされています。そのリアクションは実用性が高いややシャープさが売りで、Pearl素材でもややキャッチが強い印象が出ているのが特徴です。LATITUDE PEARLはPearl素材でもやや透明感が薄い独自のポリッシュ仕上げが特徴的で、この仕上げ方法がオイルに対してのブレーキ感と安定感それぞれに働いているように思えます。テストングの段階でよりポリッシュを高めて投球してみましたが、ややスキッド量は増えて感じますが、リアクションにほとんど影響はなく、極端にオイルに弱さが出るわけでもなく、かえって光沢を増やしたほうが投げやすく感じるコンディションも多々ありました。今まで発売されたTRACK社の二つのLATITUDE PEARLとPROOF PEARLに関して、かなりレベルの高い仕上がりと感じています。Pearl素材でもオイルに弾かれない強さもあり、かといって噛みすぎるほどでもなく走り具合とキャッチとのバランスが丁寧に仕上げられているのを感じます。

私がこの領域で二つのボールを推すのは、幅広いコンディションで曲がりの差が大きくでないこと。この辺のボールは数多くあれど、オイルがある時とない時の差が激しいボールが殆ど。その点この二つは安定したリアクションが出るので、ラインから大きく外れることがありません。みなさんが最終結果として点数を求めるのであれば、実用性の高いボールを持つこと。それに疑問はありません。

特記事項

この領域は必ずボウラーの中で安定感があり、同時に性能がでるとこのボールを選択する人が多くなるはず。流行りのボールより、あなたにとって何が実用性が高いのかを考えさせられるボールです。